

### 第3節 南部構想区域

#### 1. 構想区域の現状

##### (1) 人口

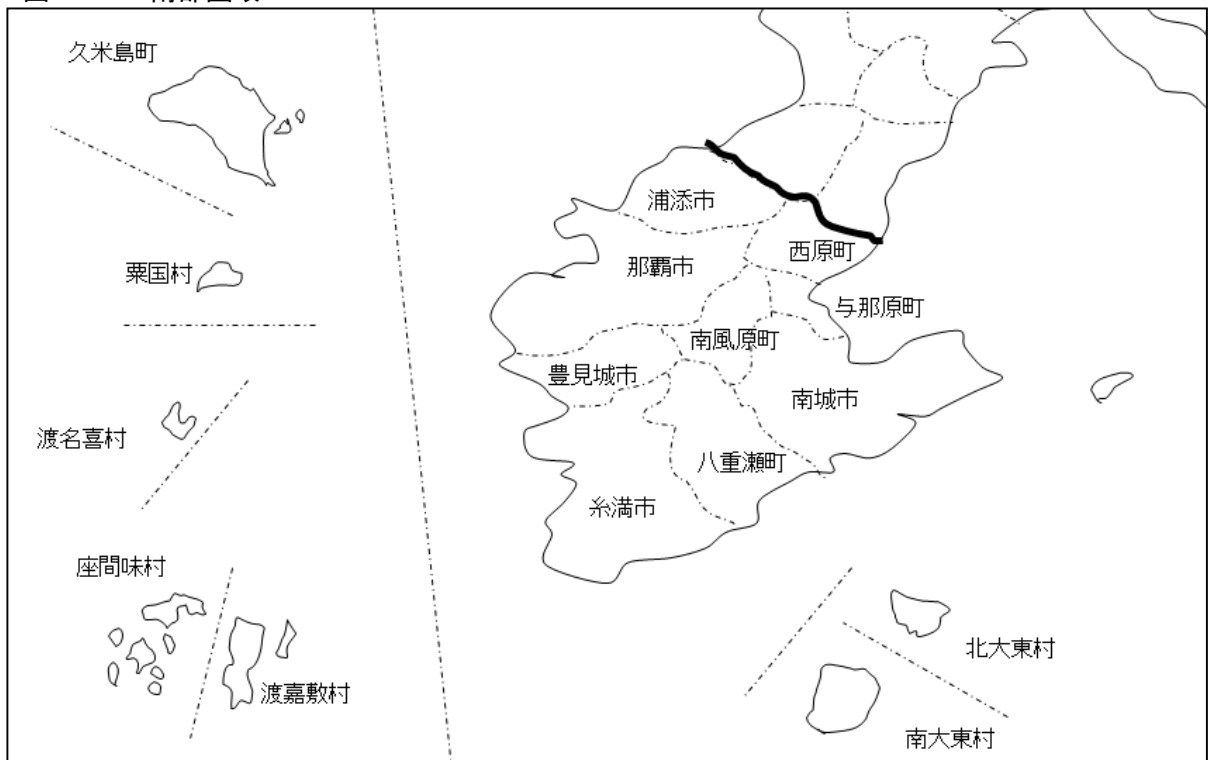
南部圏域は16市町村で構成され県人口の約5割の人口を抱えています。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」によると、南部圏域の人口は2025年まで増加を続け、その後は緩やかに減少に転じる見込みとなっています。年齢3区分別でみると、年少人口（0～14歳）は昭和55（1980）年以降減少が続き、生産年齢人口（15～64歳）は平成22（2010）年をピークに減少することが見込まれています。一方で、高齢者人口（65歳以上）は増加し、高齢化率は平成27（2015）年の19.4%から、2025年は24.5%、2040年は30.2%に上昇すると予測されています。

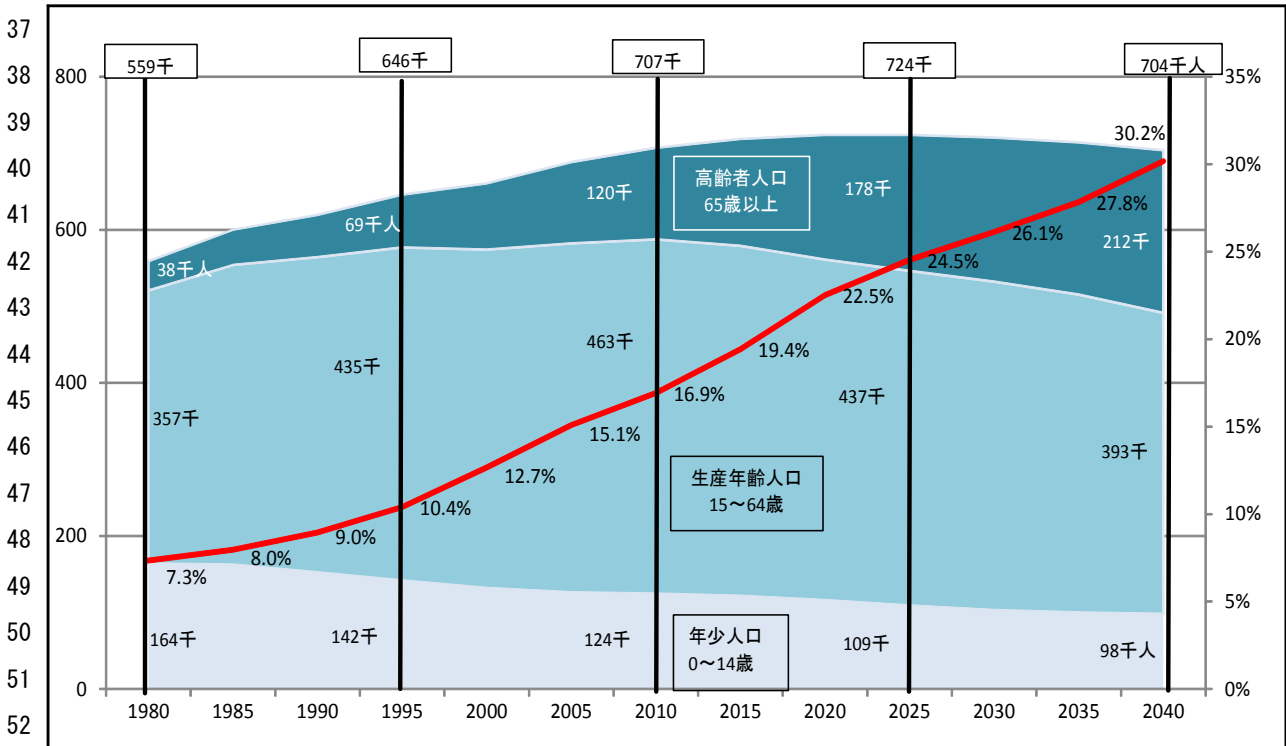
表6-3-1 南部圏域の市町村構成

構想区域名	市町村名	2025年の人口 (推計)
南部	那覇市 浦添市 糸満市 豊見城市 南城市 西原町 与那原町 南風原町 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 南大東村 北大東村 久米島町 八重瀬町(5市5町6村)	723,891人

図6-3-1 南部圏域



36 図6-3-2 南部圏域の人口推計



※2010年以前は国勢調査人口、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計人口

55 表6-3-2 南部圏域の人口と高齢化率の推計

(単位:千人)

	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
65歳以上	38	46	55	69	87	106	120	140	163	178	188	199	212
15～64歳	357	391	412	435	442	456	463	457	445	437	429	415	393
14歳以下	164	163	152	142	132	126	124	122	116	109	103	100	98
高齢化率	7.3%	8.0%	9.0%	10.4%	12.7%	15.1%	16.9%	19.4%	22.5%	24.5%	26.1%	27.8%	30.2%

(2) 医療資源

ア 医療施設数と病床数

南部圏域に県内の半数以上の医療施設が集中し、またそのなかでも総合周産期母子医療センターや救命救急センター等、県全域の拠点となる施設が集積しています。

人口当たりの病床数を見ると、一般病床は県平均を上回りほぼ全国平均並み、療養病床は高齢者人口対で全国平均の1.27倍の病床数となっています。

70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96

表6-3-3 医療施設数（平成26年医療施設調査）

	病院	診療所		歯科診療所	
		有床	無床	有床	無床
沖縄県	80	105	769	2	616
南部	41	57	460	1	341

表6-3-4 一般病床数（平成26年医療施設調査）

（単位：床）

	診療所		一般病床	総人口 10万人対
	病院	診療所		
全国	894,216	100,954	995,170	786.1
沖縄県	9,605	1,048	10,653	755.4
南部	5,022	632	5,654	786.7

※総人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

表6-3-5 療養病床数（平成26年医療施設調査）

（単位：床）

	診療所		療養病床	高齢者人口 10万人対
	病院	診療所		
全国	328,144	11,410	339,554	1,000.1
沖縄県	3,785	168	3,953	1,415.5
南部	1,654	113	1,767	1,266.0

※高齢者人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

97 表6-3-6 病院別病床数及び拠点病院等の指定の状況

施設名	一般病床	療養病床	うち介護療養(再掲)	計	拠点病院等の指定の状況									
					救急告示病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期母子医療センター	がん診療連携拠点	へき地医療拠点病院	地域医療支援病院	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	
沖縄南部療育医療センター	90	50	-	140										
大原病院	-	51	-	51										
オリブ山病院	77	34	-	111										
沖縄セントラル病院	23	114	-	137										
那覇市立病院	470	-	-	470	○			地域	地域拠点		○			
西武門病院	55	-	-	55										
仲本病院	-	75	-	75										
琉生病院	33	55	-	88										
小禄病院	70	-	-	70								○		
川平病院	-	82	-	82										
大道中央病院	90	115	-	205										○
おもろまちメディカルセンター	94	60	-	154								○		
糸数病院	35	-	-	35										
沖縄協同病院	280	-	-	280	○									○
大浜第一病院	214	-	-	214	○									
沖縄赤十字病院	314	-	-	314	○		○	地域			○			
嶺井リハビリ病院	-	168	-	168										
公立久米島病院	40	-	-	40	○							○		
平安病院	-	84	-	84										
沖縄療育園	100	-	-	100										
嶺井第一病院	53	50	-	103										
牧港中央病院	53	46	-	99	○									
浦添総合病院	311	-	-	311	○	○	○			○	○			
白銀病院	-	75	-	75										
とよみ生協病院	85	-	-	85								○		
豊見城中央病院	376	-	-	376	○		○				○			
嬉野が丘サマリヤ人病院	-	26	-	26										
比嘉眼科病院	50	-	-	50										
琉球大学医学部附属病院	550	-	-	550	○			地域	県拠点	○				
アドベンチストメディカルセンター	48	-	-	48										
与那原中央病院	124	46	-	170	○									
沖縄第一病院	102	52	-	154	○									
同仁病院	100	54	-	154								○		
博愛病院	-	60	40	60										
大浜第二病院	59	118	-	177										
西崎病院	90	60	-	150								○		
県立南部医療センター・こども医療センター	423	-	-	423	○	○	○	総合		○	○			○
南部病院	188	-	-	188	○							○		
南部徳洲会病院	345	-	-	345	○									
沖縄メディカル病院	30	179	-	209										

98

99

100

101

イ 病床利用率と平均在院日数

102

病床利用率は一般病床、療養病床ともに全国平均より高く、特に一般病床は10ポイント以上高い利用率で利用されています。

103

104

平均在院日数は全国平均より一般病床は短く、療養病床は長い利用状況となっています。

105

106

表6-3-7 病床利用率（平成26年患者調査）

（単位：％）

	総数	一般病床	療養病床
全国	80.3	74.8	89.4
沖縄県	87.6	83.7	92.6
南部	89.3	86.6	91.7

表6-3-8 平均在院日数（平成26年病院報告）

（単位：日）

	総数	一般病床	療養病床
全国	29.9	16.8	164.6
沖縄県	31.1	16.2	178.8
南部	29.7	15.7	202.5

#### ウ 医療従事者数

医療従事者について、南部圏域で従事する医師数は人口対比で全国の約1.24倍と全国を上回る数が確保されています。特に病院に従事する医師数が多く、全国平均の1.4倍の従事者数となっています。

歯科医師数は全国の83%と平均を下回っています。

薬剤師については人口対比で全国の82%ですが、就労場所別でみると病院、診療所の従事者数は全国平均並み、薬局の従事者数は全国平均を若干下回る数となっています。

表6-3-9 医師、歯科医師、薬剤師数・人口10万人対（平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査）

（単位：人）

	医師			歯科医師			薬剤師		
	届出数	人口当たり	全国対比	届出数	人口当たり	全国対比	届出数	人口当たり	全国対比
全国	311,205	244.9	—	103,972	81.8	—	288,151	226.7	—
沖縄県	3,552	250.0	102.1%	844	59.4	72.6%	2,109	148.4	65.6%
南部	2,209	304.6	124.4%	493	68	83.1%	1,356	187	82.5%

※人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

143 表6-3-10 医師、歯科医師、薬剤師数・就労場所別従事者数及び人口10万人当たり従事者数  
 144 (平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査)

(単位:人)

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院・診療所従事者	薬局従事者	その他
全国	311,205	194,961	101,884	14,360	103,972	12,141	88,824	3,007	288,151	54,879	161,198	72,074
沖縄県	3,552	2,517	915	120	844	70	749	25	2,109	538	1,323	248
南部	2,209	1,562	565	82	493	55	422	16	1,356	324	838	194

※人口10万人当たりの人数 (単位:人)

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院・診療所従事者	薬局従事者	その他
全国	244.9	153.4	80.2	11.3	81.8	9.6	69.9	2.4	226.7	43.2	126.8	56.7
沖縄県	250.0	177.1	64.4	8.4	59.4	4.9	52.7	1.8	148.4	37.8	93.0	17.4
南部	304.6	215.4	77.9	11.3	68.0	7.6	58.2	2.2	187.0	44.7	115.5	26.7

※人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

145  
146  
147  
148 **エ 病床機能報告**

149 平成27(2015)年の病床機能報告における報告病床数は表6-3-11のとおりであり、急性期病床が最も多く、回復期病床が最も少ない報告数となっています。

150 また、病床の稼働状況別の報告によると、1年以上利用されていない非稼働病床として295床が報告されています。

151  
152  
153  
154 表6-3-11 病床機能報告の報告病床数 (平成27 (2015) 年)

(単位:床)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床ベース	1,369	3,431	626	1,799	96	7,321
うち病院	1,350	3,060	617	1,637	0	6,664
うち有床診療所	19	371	9	162	96	657

(単位:床)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
稼働病床	1,351	3,326	620	1,729	0	7,026
うち病院	1,332	3,035	616	1,581	0	6,564
うち有床診療所	19	291	4	148	0	462
非稼働病床	18	105	6	70	96	295
うち病院	18	25	1	56	0	100
うち有床診療所	0	80	5	14	96	195

155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167 ※未報告等の医療機関があり報告対象の病床数と一致しない。

168  
169  
170 **オ 在宅医療の状況**

171 南部圏域における在宅医療サービス実施施設数、サービス実施件数は表6-3-12のとおりとなっています。

人口当たりの実施件数は表6-3-13のとおりであり、実施施設数、サービス実施件数ともに県平均を上回っていますが、全国平均を下回っておりサービス実施件数は全国平均の6割から4割となっています。

表6-3-12 在宅医療サービス実施数（平成26年医療施設調査）

合計	医療保険等による在宅サービス実施						
	実施施設	往診		訪問診療		在宅看取り	
		施設	実施件数	施設	実施件数	施設	実施件数
全国	42,951	24,879	206,728	23,196	1,069,280	4,784	8,986
沖縄県	220	109	1,008	132	6,619	25	38
南部	113	55	579	64	3,728	12	22

※実施件数は平成26年9月中の数

表6-3-13 在宅医療サービス実施数（平成26年医療施設調査）人口10万人対

	実施施設	往診		訪問診療		在宅看取り	
		施設	実施件数	施設	実施件数	施設	実施件数
全国	33.9	19.7	163.3	18.3	844.6	3.8	7.1
沖縄県	15.6	7.7	71.5	9.4	469.3	1.8	2.7
南部	15.7	7.7	80.6	8.9	518.7	1.7	3.1

※人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

表6-3-14 在宅医療に係る施設基準届出医療機関数

(単位:箇所)

	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	在宅療養支援診療所	
			医科	歯科
沖縄県	12	4	107	25
南部	7	3	61	15

出典：九州厚生局「届出受理医療機関名簿」(H28.7.1)

- \* 在宅療養支援病院：24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院
- \* 在宅療養後方支援病院：在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院
- \* 在宅療養支援診療所：地域において在宅医療を支える24時間の窓口として、他の病院、診療所、訪問看護ステーションと連携を図り24時間往診、訪問看護等を提供する診療所

2. 将来において必要となる病床数及び在宅医療等の必要量の推計

(1) 医療需要の推計

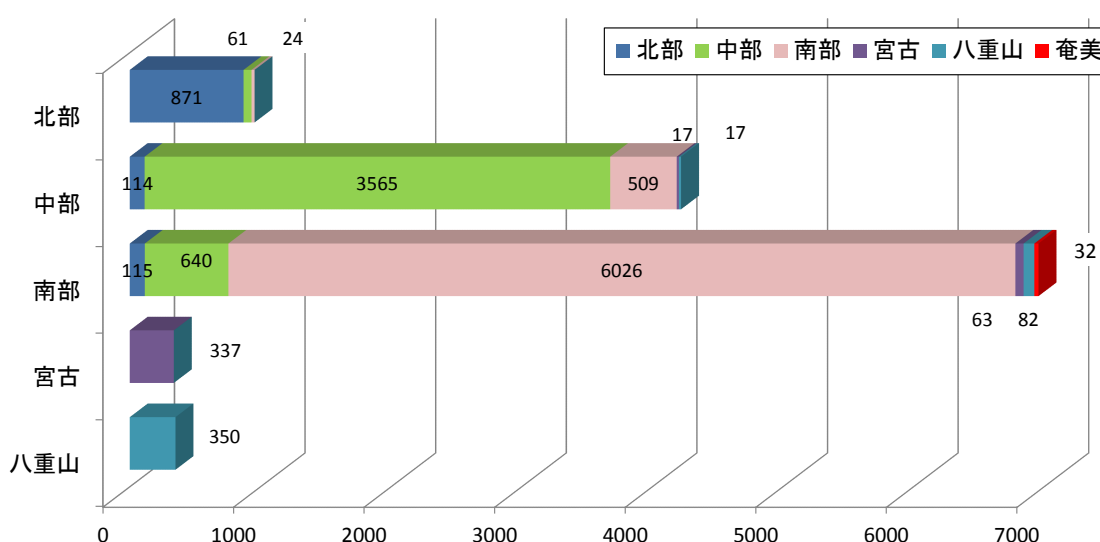
南部圏域の医療機能ごとの2025年の医療需要（1日当たりの入院患者数）の推計は表6-3-15のとおりです。南部圏域は県内で医療施設数が最も多く、特定機能病院である琉球大学医学部附属病院をはじめ、県立南部医療センター・こども医療センター、沖縄赤十字病院、那覇市立病院などの公的病院が南部圏域に集積し、総合周産期母子医療センターやがん診療連携拠点としての機能を担っています。また、県内3つの救命救急センターのうち2施設が設置されていることなどから、他圏域から患者の流入が多くあります。

表6-3-15 2025年の医療機能ごとの医療需要（1日当たりの入院患者数）の推計

単位：人/日

		総数				
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
沖縄県	医療機関所在地 (A)	12,894	1,374	4,233	4,207	3,080
	患者住所地 (B)	12,883	1,369	4,225	4,200	3,089
	流出入の状況 (A-B)	11	5	8	7	-9
南部	医療機関所在地	6,985	833	2,474	2,115	1,563
	患者住所地	6,595	734	2,302	2,031	1,528
	流出入の状況 (A-B)	390	99	172	84	35

図6-3-3 2025年の圏域ごとの医療需要（1日当たりの入院患者数）の流出入推計



		患者住所地					
		北部	中部	南部	宮古	八重山	奄美
医療機関所在地	北部	871	61	24	0.0	0.0	0.0
	中部	114	3565	509	17	17	0.0
	南部	115	640	6026	63	82	32.0
	宮古	0.0	0.0	0.0	337	0.0	0.0
	八重山	0.0	0.0	0.0	0.0	350	0.0

(単位：人/日)

※1日10人以下はマスキングされ数値は不明。



257  
258 (2) 必要病床数  
259

260 南部圏域の2025年の必要病床数は表6-3-16のとおりです。

261 必要病床数と、平成27(2015)年の病床機能報告で報告された地域医療  
262 構想の対象となる機能別病床数を比較すると、南部圏域は将来に向けて病  
263 床が不足すると推計されます。病床機能別でみると、回復期機能が不足し、  
264 それ以外の機能は過剰になると推計されます。

265  
266 表6-3-16 必要病床数(2025年における病床の必要量)

267 医療機関所在地ベース

単位:床

	総数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
沖縄県	15,282	1,831	5,428	4,674	3,348
南部	8,332	1,111	3,172	2,350	1,699

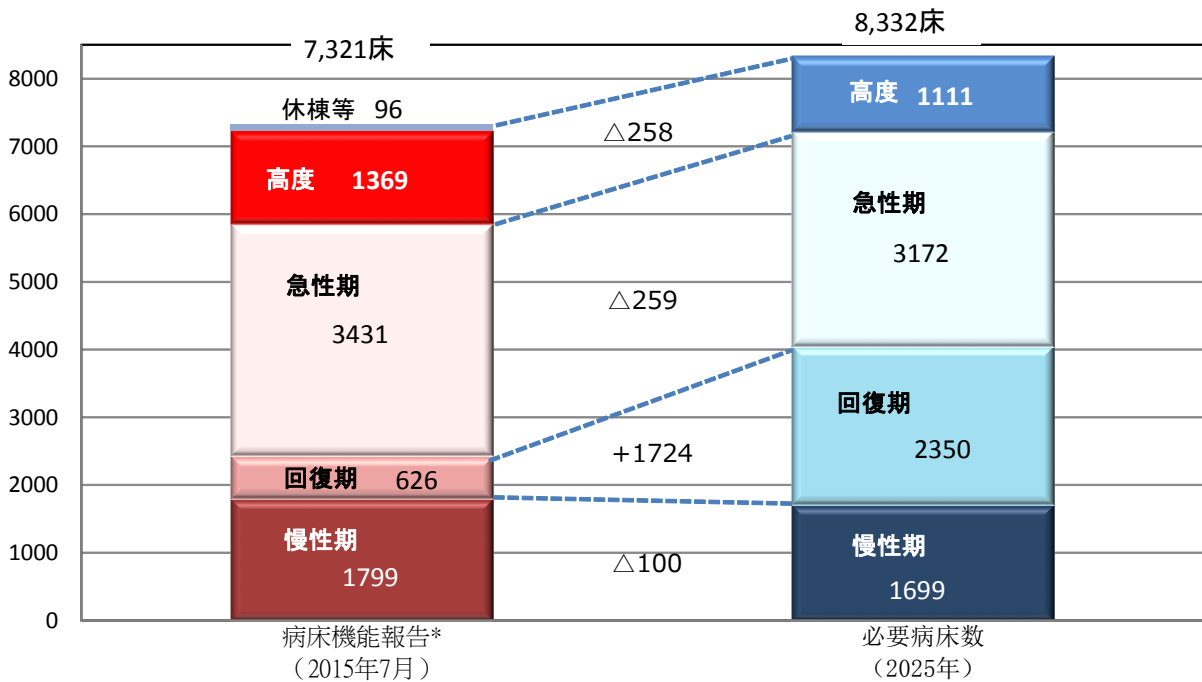
272  
273  
274 表6-3-17 平成27(2015)年病床機能報告の報告数と将来(2025年)における必要病床数との比較

単位:床

構想 区域名	病床機能	平成27(2015)年 病床機能報告病床数(床)	2025年 必要病床数(床)	差
南部	高度急性期	1,369	1,111	△ 258
	急性期	3,431	3,172	△ 259
	回復期	626	2,350	1,724
	慢性期	1,799	1,699	△ 100
	休棟等	96		
	病床計	7,321	8,332	1,011

285 ※未報告等の医療機関があり対象の病床数と報告数は一致しない。

300 6-3-4 平成27(2015)年病床機能報告の報告数と将来(2025年)における必要病床数の比較



\* 未報告等があり現状の病床数とは一致しない。数値は許可病床数

301

302

303 【参考】

304

305 表6-3-18 地域包括ケア病棟の整備数(平成28年1月5日時点)

306

(単位:箇所、床)

307

308

	施設数	病床数	高齢者人口 10万人対
九州	333	8,999	240.8
沖縄県	9	210	75.2
南部	6	107	76.7

309

310

311

312

出典:九州厚生局「届出受理医療機関名簿」

313

※人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

314

315

316

317 (3) 在宅医療等の医療需要

318

319 2025年の在宅医療等の医療需要については表7-3-18のとおり推計されま  
320 す。在宅医療等の医療需要は、訪問診療を受ける患者、介護老人保健施設  
321 の入所者、退院後の外来診療なども含めて推計しています。

322 在宅医療等の医療需要は、在宅医療等を必要とする対象者の数を表して  
323 おり、1日当たりの医療需要ではないことに留意が必要です。

表6-3-19 2025年における在宅医療等の医療需要の推計

(単位:人)

	在宅医療等		
沖縄県	15,319		
南部	7,758	在宅医療等	
那覇市	3,386	渡嘉敷村	7
浦添市	1,139	座間味村	9
糸満市	638	粟国村	12
豊見城市	626	渡名喜村	7
南城市	534	南大東村	16
西原町	381	北大東村	9
与那原町	182	久米島町	111
南風原町	383	八重瀬町	316

※市町村別の在宅医療等の医療需要については、2025年の65歳以上推計人口により按分して算出

※小数点以下を四捨五入し表示しているため、合計値は一致しない

### 3. 現状・課題

#### (1) 将来不足が見込まれる病床機能

南部圏域における平成27(2015)年の病床機能報告の病床数と必要病床数を比較すると回復期機能が大きく不足する機能となっており、特に、地域包括ケア病棟については、65歳以上人口当たりの病床数が九州平均の3割程度となっています。高齢化の進行に伴い将来増加が見込まれる医療需要に適切に対応するため、不足する機能を解消していく必要があります。

#### (2) 医療拠点地域としての役割

多くの医療機関が集積しており、救命救急センターや総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点等、高い医療機能を担っています。各医療機関が担う機能を十分に発揮できるよう機能分化と連携に取り組む必要があります。

#### (3) 一般病床の利用状況

人口当たりの一般病床数はほぼ全国並みの数が整備されていますが、一般病床の利用率が全国平均に比して高く、平均在院日数も短い状況があります。平成27(2015)年の病床機能報告によると、非稼働病床も多くあります。病院間、病院と診療所の連携による効率的な医療提供体制の構築に向けた取り組みを促進する必要があります。

366 (4) 在宅医療等の提供状況

367 療養病床については、全国平均と比較して人口当たりの病床数が多く、  
368 平均在院日数が長い状況があります。また、在宅医療については全国平均  
369 値と比較して人口当たりの実施施設数、サービス実施件数ともに少ない状  
370 況となっています。

371 療養病床以外で対応可能な患者に対し、介護施設や高齢者住宅等の住ま  
372 いの場と、在宅医療、介護サービスを一体的に提供できる体制を整備して  
373 いく必要があります。医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で生活  
374 を継続できるよう、基盤整備を促進する必要があります。

375  
376 (5) 離島・へき地医療の確保

377 南部圏域には多くの有人離島があり、離島住民への適切な医療サービス  
378 提供体制を確保する必要があります。

379  
380  
381 4. 構想実現に向けた取り組み

382  
383 (1) 不足する病床機能の確保への支援

384 不足している病床機能への転換を促進するため、転換に必要な施設、設  
385 備整備等について支援します。

386 特に、不足が顕著となっている回復期機能については地域において提供  
387 されることが望ましい機能であり、急性期を脱した患者の受け入れや在宅  
388 復帰支援、在宅療養者の軽症急性疾患の受け入れ等の役割が期待される地  
389 域包括ケア病棟への転換については、地域包括ケアシステムの構築や病床  
390 機能の分化・連携を推進する観点から、重点的に支援を行います。

391  
392 (2) 機能分化と連携への支援

393 専門的な治療や特に診療密度の高い医療については、集約化を図り高い  
394 機能を維持するための取り組みを促進します。医師の育成の観点からも、  
395 疾患、手技別の症例を集約し専門医を取得できるだけの症例数を確保する  
396 ことが望ましいため、各医療機関の機能分化と連携による症例別の医療提  
397 供の集約化のための取り組みを支援します。

398 また、各医療機関が担う機能を十分に発揮できるよう、機能分化と連携  
399 の強化を推進するため、診療科や疾患ごとの関係者による連携会議や地域  
400 連携クリティカルパスの整備・活用の推進等の取り組みを支援します。

401  
402 (3) 在宅医療の充実への支援と県民への情報提供

403 高齢化の進行により増大する医療需要への対応や、退院後の地域での療  
404 養生活を支える体制の構築のため、地域における在宅医療の充実を図りま  
405 す。在宅医療に従事する人材の確保や多職種による連携体制の構築、在宅  
406 医療を担う診療所等の後方支援体制の構築等、在宅医療提供体制の確保の  
407 ための取り組みを支援します。

408           また、市町村と連携し、地域住民に対して在宅で提供できる医療・介護  
409 サービスの内容や、在宅療養を支援する地域の関係機関の機能と役割につ  
410 いて周知を図ります。

411           可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう、医療と介護の一体  
412 的な提供体制の整備を図るため、市町村の地域包括ケアシステム構築に向  
413 けた取り組みを支援します。

414  
415 (4) 適切な医療選択のための県民への情報提供

416           医療機能の分化、連携の推進に向け、患者が適切に医療を選択できるよう、  
417 高度急性期から在宅医療まで各医療機関が担う役割と、地域における提供体制  
418 について情報提供を行います。

419           長期にわたり入院療養が必要となる医療需要の発生を予防するためにも、  
420 日常的な診療、健康管理等のため、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかり  
421 つけ薬局等の重要性について普及啓発を行い、地域の医療資源について情報提  
422 供を行います。

423  
424 (5) 離島・へき地医療の安定的な提供

425           離島及びへき地における医療を安定的に提供する体制を維持していくため、  
426 琉球大学医学部地域枠及び自治医科大学での医師の養成並びに県立病院での後  
427 期臨床研修医の養成等を行い、医師の確保に取り組みます。あわせて、離島へ  
428 き地診療所の医師が島を離れる際の代診医派遣や、皮膚科、耳鼻科、眼科など  
429 の専門医による巡回診療などを実施し、離島・へき地における医療の安定的な  
430 提供に取り組みます。